

## 神戸市立高等学校教職員組合との交渉議事録

1. 日 時：2026 年 8 月 3 日（月）17：30～18：20
2. 場 所：教育委員会会議室
3. 出席者：（市） 教職員給与課長、労務制度係長、他 1 名  
（組合） 執行委員長 1 名、副執行委員長 2 名、書記長 1 名、他 9 名
4. 議 題：2027 年度 要求書の提出について

### 5. 発言内容：

（組合） 2027年度の要求書について、私の方から説明させていただきます。

本要求は、現場の深刻な負担増と制度の構造的な問題により、教育活動の質そのものが損なわれている現状を踏まえたものです。これ以上放置することなく、早急かつ具体的な対応を強く求めます。

1 番についてですが、勤務制度の抜本的な改善です。現行の勤務の割振変更制度は実態に即しておらず、機能不全に陥っています。特に、時間外の部活動指導が対象外とされている現状は明らかに不合理であり、直ちに対象業務へ追加すること。また、現行のシステムは煩雑で現場の負担となっており、複数申請が可能となるよう早急に改修してください。さらに、割振変更対象業務により時間外勤務が発生した場合は、4 時間単位で半日振替とするなど、実効性ある制度へ改めてください。

2 番、3 番については、子育て支援制度の再構築についてです。子の看護休暇は現状では不十分であり、子育て支援休暇として再構築し、子ども 1 人につき 5 日の付与を行ってください。また、育児短時間勤務制度については、取得しにくい職場環境そのものが問題であり、具体的な人的配置や業務軽減策を伴う形で制度を機能させてください。

4 番、5 番については、職制の見直しです。主務教諭の新設は、教職員間の分断と過度な階層化を招くものであり、断じて導入すべきではないと思っています。主幹教諭についても業務の不明確さが現場の混乱を招いておりますので、速やかに検証し、職務内容を明確化してください。

6 番については、人事評価制度の是正です。現行の人事評価制度は、公正性、透明性、納得性のいずれも欠いており、現場に過度な競争と負担を強いています。改善が不可能であるならば、制度そのものを廃止することを強く求めます。また、これまでの評価結果の全体集計を開示し、制度の問題点について組合と十分な協議を行ってください。

7 番については、業務分担の適正化です。奨学給付金業務を教職員に担わせる現状は明らかに不適切であり、速やかに事務室へ移管することをお願いします。

業務の合理化は急務であると思います。

8番、9番、10番については、処遇改善です。同一労働・同一賃金の原則に照らし、常勤講師の処遇は著しく不十分です。採用時から給料表2級を適用するなど、早急な改善を行ってください。また、第3の加配教員は通年雇用とし、年度途中の異動に伴う負担に対しては手当の新設することを考えてください。時間講師についても、報酬水準の引上げ、および授業準備や評価等を含めた適正な手当支給を行ってください。

11番については、入試業務の抜本的見直しについてです。入試業務が教職員の過重負担となっている現状は看過できません。願書受付業務は教員の業務から切り離してください。また、入試手当は勤務実態に見合っておらず、増額および対象業務の拡大、特に問題作成業務については手当を支給してください。

12番は、ICT導入のあり方の是正です。KIIF等のICT導入において、現場の意見が反映されていない現状は重大です。仕様策定段階から学校現場の意見を確実に反映させてください。特に、視覚障害教員への配慮は不可欠です。

13番は、部活動に関する改善についてです。高校への外部指導員配置を早急に進めてください。また、特殊勤務手当については、他都市の水準を踏まえ、速やかに引き上げることをお願いします。

14番、15番、16番は、人事・採用制度の是正です。本人の意向を無視した人事異動は到底容認できません。特に、中学校への異動については、本人の意思に反する配置を今後も行わないことを徹底していただきたいと思っております。また、高校単独での教員採用を実施し、現場の実情に即した人材確保を行ってください。応募認定退職制度についても、教育職への適用をそろそろお願いします。

17番は、通勤手当の見直しについてです。山麓バイパスを含む通勤実態に見合わない現行制度は、神戸市の地形上、不合理であり、実態に即した支給要件へ速やかに改めてください。

18番は、誠実な協議の確保についてです。市教委および管理職は、これまで以上に誠意ある対応と具体的な改善策の提示を行い、組合との協議に真摯に臨んでください。

以上の事項について、具体的な改善策と実施時期を明示した回答を強く求めます。また、昨年も「管理運営事項です」という回答が多く見られましたが、どれも勤務・労働条件に直結するものだと考えていますので、どの項目においても曖昧な説明や先送りをするのではなく、真摯な回答をよろしくお願いいたします。

次に、各分会から分会要求をお願いします。

(組合) 摩耶兵庫高校分会です。1番、職員トイレの改修について、悪臭がひどいということで、構造上、どのフロアのトイレにも窓がなく、臭いがこもりやすいという特徴があります。職員により便器の清掃は念入りにしていただいておりますが、毎年

この項目が要望として挙がっています。排水管の老朽化も原因の一つと思われますので、一度調査していただき、必要な改修をお願いしたいと思います。

2 番については、設置するデメリット等もありますので、改めて校内で検討したいと思っていますが、緊急時の非常階段について、1 か所しか外部へ出られる場所がなく、もう 1 か所避難できる動線の確保は必要かなと考えています。非常階段の観点ですが、これに伴う考え方として、校舎から外へ出られるルートをもう 1 か所作っておく必要があると考えます。

3 番は、非常ベルについてです。本日、教頭先生や事務室とも話をしましたが、年 1 回の業者点検では特に不調は聞いていないということですので、設定の問題かと思しますので、もう少し校内で調査したいと考えています。

4 番については急ぎでお願いしたいところですが、3 階に更衣室があり、体育時や部活動、現在、夏休みでも部活動をしています。その時の更衣場所となっている部屋にエアコンが設置されていません。平日はもちろんですが、体育館を使用する部活動、特に女子生徒が利用する際にはエアコンが設置されていない状況となっていますので、早急に動いていただきたいと思います。なお、職員室東側のエアコン設置については現在動きがあると聞いておりますので、引き続き校内で対処しているかと考えております。

5 番です。教員数を増やしていただきたいという要望です。数の問題になりますので別途かと思いますが、常勤講師の割合が非常に高く、毎年休職者も出ている現状があります。欠員も毎年出ています。そのため、労働環境に関する聞き取りや調査を教育委員会でも実施していただきたいと考えております。

最後に 6 番ですが、空調設備の改修についてです。老朽化に伴って、ある場所を冷やすと別の場所が暑くなるといった状況です。KECも同じ形になっているのかなと聞いたことがあります。設置から相当年数が経過しているため空調の不具合かと思われます。特に本校では昼間部が設置されたことで、昼間の稼働時間が昔より増えていますので、抜本的な改善をお願いします。これは今後も毎年要望として挙がってくる内容だと思いますので、学校整備の面から取り上げていただきたいと考えております。以上です。

(組合) 神戸工科高校分会です。1 番、洋式便所について、男女とも設置されており稼働は多いのですが、特に冬場は寒くなっており、暖房便座、ウォームレットと、お湯が出るウォシュレットの導入を早急に行っていただきたいと思います。予算や配管の問題もあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

2 番、配慮が必要な生徒についてですが、この度 1 年生の約 2 割が他国籍、日本国籍ではない生徒が入ってきており、指導において日本語が通じない部分もありますので、配慮が必要な状況です。特に、実習では教員を複数配置したりして対応していますが、限界もありますので、他府県の様子を見ても半分以上が日本

語を母語としない他国籍の生徒が来ているという状況もありますので、支援の整備をお願いしたいと思います。

3番ですが、WBGTにも関わる内容ですが、実習室や体育施設、工業系施設などにおいて、空調設備があっても十分に機能していなかったり、老朽化により使用できなかったりするケースもありますので、迅速な対応をお願いしたいと思います。

4番、旅費予算について、若干戻ってはきていると感じていますが、コロナ前の水準にはまだ達していません。学校として新たな取組を進めるためにも、旅費予算をコロナ前の水準に戻していただきたいと思います。

5番、危険箇所、特に4階5階の外窓の清掃について、教員では行えない部分があります。先日、床の清掃に関して業者が入ってきてありがたいと思っているのですが、外部から見られるところでもありますので、外部業者による清掃等ご検討いただければと思います。

6番、老朽化した施設設備の更新についてです。本校も20年以上が経過しており、今後さまざまな設備更新が必要になると思われます。その際には十分な対応をお願いいたします。以上です。

(組合) 科学技術高校分会です。1番、施設設備についてです。本校は開校から20年以上が経過し、校内のさまざまな施設設備で老朽化が進んでおります。具体的には、校内のアスファルトや、職員トイレ、グラウンドの散水栓などです。これらは学校環境の美化や安全性に影響を及ぼしており、今後さらに状況が悪化することが懸念されます。生徒が安心・安全に学習活動を行える環境を維持するため、計画的な補修および保全工事の実施についてご配慮いただきますようお願いいたします。

2番、空調設備についてです。近年は猛暑が常態化しており、熱中症対策がこれまで以上に重要になっています。本校では一般教室には空調設備を設置していただいておりますが、実習室や体育施設については空調の効きが悪い部分もありまして、これらの施設への空調設備の整備・充実をご検討いただきますようお願いいたします。

3番、校内清掃についてです。衛生環境の向上と校内美化を維持するため、外部業者による定期的な清掃の実施をお願いいたします。日常の、生徒と教員の清掃だけでは十分に対応が難しい箇所も多く、専門業者による定期的な清掃が行われることで、衛生環境の維持と施設の長寿命化につながると考えています。月に1回でも継続的な清掃が実施されれば、より良好な教育環境を維持できるかと考えますので、よろしくお願いします。

4番、実習機器の更新予算の継続配当についてです。本校には4つの専門学科があり、それぞれの分野において、実習機器や設備の維持・更新が不可欠です。

ISOへの対応などにおいて、設備更新の必要性はますます高まっています。また、コンピュータについても一般的な教育用途とは異なり、設計・計量・シミュレーションなど、工業系特有の高度な利用を行うため、専門的な仕様の機器やソフトウェアが必要となります。生徒が最新技術や設備に触れながら学べるよう、実習機器の更新予算について、今後も継続的な配当をお願いします。

- (組合) 神港橋分会です。1番が、校舎・設備関係についての補修・改善の要求です。生徒用トイレの温便座化、ウォシュレットの設置、そして和式トイレがまだ残っていますので、そちらについても洋式トイレ化していただきたいと思っております。校舎内の鏡ですが、新築時の部材の問題があるということで、一部歪みが出ていますので、こちらも視察に来ていただいて新しくしていただけたらと思います。それから、アリーナの空調を設置していただきたいと思っております。また、本校野球部の第2グラウンドについても老朽化が進んでおりますので、改修をお願いしたいです。それから、本校の校庭・グラウンドの人工芝化についても、既存のグラウンドでは、けがのリスクや砂が舞ってしまう問題があり、教員が数時間おきに散水を行うなど対応しておりますが、負担が大きいため、ご検討いただければと思います。また、グラウンド・テニスコートのナイター設備についても、一部しか照らされていないという問題がありますので、設備の充実をお願いしたいと思っております。また、テニスコートの除草についても、すぐに草が生えてくる状態ですので、対応をお願いできればと思っております。

2番、iPadのアプリ取得の制限について、生徒の目的外使用が多いという点は、本校の指導上の問題でもあると思いますが、中学校ではアプリ取得に一定の制限があると聞いておりますので、高校においても指定したアプリのみ取得できるような制限が可能であれば、導入していただきたいと思っております。また、タッチペンについても、高校では教員対応のタブレットにタッチペンが付属しておりませんので、こちらについても配付をお願いしたいと思っております。

3番、女性体育教員の人事についてです。本校は女子生徒が8割ほどおりますが、女性体育教員は正規では2名しかおりません。有事の際の対応が難しいので、各学年に1名は配置していただけるようお願いしたいと思っております。

- (組合) 須磨翔風校分会です。1番、校内環境の改善についてです。タブレット端末やICT機器、GIGA端末の活用が推奨されていると思いますが、本校で実際に使用しようとする、本校は7クラスあるのですが、1クラスが使用するだけで通信が止まってしまう、それ以上ネットワークが機能しない状況です。授業でもさまざまな場面で活用することを想定しており、活用の依頼もされていますが、実際には使おうとしても通信環境の問題で使用できず、推奨されているにもかかわらず活用できない状況で困っています。管理職にも相談し、一定の対応はしていただいておりますが、そもそもネットワーク自体が非常に重く、なかなか改善されてい

ないのが現状ですので、ぜひ、ネットワーク環境を早急に改善していただきたいと思います。理想としては、全員が同時に利用しても支障のない環境を整備していただきたいと思っています。もう1つは、校舎の環境についてです。本校は比較的新しい校舎ですが、吹き抜け部分など清掃が難しい箇所があり、その部分にたまった埃が落ちてきて、大きな埃の塊が校内に見られる状態になっています。日常的な清掃は行っていますが、長年のものになるため、どうしても埃が落ちてきているところです。本校は中学生から人気がありますが、その理由の1つが「校舎がきれい」というのもありますので、その点も踏まえて校舎がきれいなところを維持していただきたいと思っています。

2番ですが、人的配置、物品、情報提供等の支援についてお願いしたいです。他校と同様に、本校でも人員が不足しています。数年前に本校は8クラスから7クラスになり、それに伴い教員数も減りましたが、本校が総合学科の単位制高校であるため、クラス数が減ったからといって授業数が減るわけではありません。生徒がそれぞれ希望する科目を選択するため、授業数そのものは変わらず、その不足分を現場の教員が補う形になっていますので、単位制総合学科を守るためにも、人員確保を再度検討していただきたいと思います。さらに、本校では数年前から外国籍生徒を受け入れる特別枠の入試を実施しています。この件については、委員会から積極的に支援をしていただけるという話でしたが、現状では十分とは言えませんので、積極的な情報提供や支援をお願いしたいと思います。

3番については、要求書に記載しているとおりですので、よろしく願いいたします。

(組合) 分会要求は以上です。続いて、幼稚園部要求です。

(組合) 1番、3年保育を市立幼稚園全体で実施していただきたいです。地域の方からも要望が強いです。

2番、入園希望者には、抽選を行わず全員を入園させること。今、希望者のほぼ全員に実施できているかと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

3番、自家用車で園児を送迎する際の送迎スペースの確保を全園において行うこと。園区が広がり、各区全体が園区となったため、以前のような徒歩通園・自転車通園が非常に酷な状況ですので、車で送迎ができるような方向に対応をお願いしたいです。

4番、市立幼稚園の今後の方針に記されているスーパーバイズ・バックアップの機能・役割を明確化し、具体的な案を掲げること。実現させるために、十分な人員・予算を確保すること。方針を示していただけたら非常にありがたいです。

5番、幼稚園の事務を改善すること。入園事務や預かり保育事務、徴収事務など、お金を扱う業務は教員にとって負担が大きいです。事務の派遣スタッフを各園に1人配置したり、時間や曜日を決めて配置したりしてほしいと思います。

6 番、「預かり保育」の指導員は、市教委で確保すること。預かり保育関連業務が幼稚園教諭の過重負担とならないようにすること。申し込みや金銭処理・領収書配布をシステム化するなど、事務の改善や簡略化を図ること。地域で集約するなど、小規模園の負担を軽減する工夫について検討すること。領収書のシステム化などは、十分できるのではないかと思います。現在は月末に各園で預かり保育利用者のまとめたものを提出し、金額の確認を委員会から依頼されて行った後、領収書を作成しています。委員会側で金額を把握できているのであれば、領収書発行までシステム化し、幼稚園を介さず保護者へ直接通知できる仕組みがあれば、還付手続き等もスムーズになるのではないかと思いますので、検討をお願いいたします。

7 番、幼稚園教諭に義務制と同じ給料表を適用すること。主任は係長級に、園長は課長級に任用すること。これは 15 番とも関連しますが、主任のなり手が非常に少ない状況で、今年度、主任のいない園もたくさんあります。適用されれば、主任になってみようという人も増えるかもしれないという思いを込めています。

8 番、教職調整額を義務制と同様に増額すること。全国的に幼稚園は小中高とは別扱いとされていますが、できないことはないと思いますので、神戸市が一步先行く都市として導入していただけたらと思います。

9 番、3 歳児学級については、現在の担任 1 名と会計年度任用職員 1 名では問題が多いため、改善していただきたいです。

10 番、育児短時間勤務について、希望する教員が気兼ねなく利用できるように配慮すること。現在もすごく配慮していただいております、幼稚園の先生方は有効的に使わせていただいております。当該教員が担任を受け持つ場合や、複数の育児短時間勤務者がいる場合、保育の引き継ぎや事務等の負担を考慮して、裏付け者を常勤講師とすることについて、現在、育児短時間勤務者がいる場合、園務補助員を配置していただいておりますが、人手として人数はいても、パート職員と園務補助員とでは保育や事務の対応が十分にできない状況があります。パート職員はパソコンを所持していないため事務を担当できず、一緒に保育を進める体制づくりが難しい場面もあります。そのため、裏付けの方については、常勤講師にさせていただけると非常にありがたいです。

11 番、年度途中の欠員に対する補充が困難な状況が続くため、新規正規採用の増員を継続すること。常勤講師・会計年度任用職員について、欠員で現場の負担が増すことのないように人材確保に十分配慮していただきたいと思います。

12 番、体育科教諭に認められている産休前 1 か月プラス 1 か月の補助教員配置制度を、幼稚園教員にも適用していただきたいです。園児が補助教員に慣れるのにも時間がかかったりしますし、園の仕事を把握するのにも、1 か月では引き継ぎ

を行うには短いと感じています。また、幼稚園では子どもと活動するため体を動かす場面も多く、臨月に近い1か月前まで子どもと一緒に動くのはなかなか難しい部分もあるため、プラス1か月つけていただけたらありがたいです。

13番、特別支援対応で現場の負担が増すことのないように人材確保に十分配慮すること。現場の要望をよく聞き、年度途中であっても人員配置の調整を行うことについて、特別支援ボランティア制度には大変助けられておりますので、引き続き充実をお願いいたします。現在、12月から1月ごろに特別支援課による人員配置の検討が行われていますが、3月ごろに引っ越したり私立から転入したりしてくる児童の中には、配慮を必要とする児童も多くいるため、12月・1月の配置では4月になってから人が足りないという実態もありますので、年度途中であっても調整をお願いしたいと思います。

14番、主任・教諭・再任用教諭の人事異動については、本人の意向を十分に尊重することについて、既に色々尊重いただいているかと思いますが、中には勤務地が遠い場合もあると聞いていますので、引き続きよろしくをお願いいたします。

15番、主任不在園を解消すること。主任が不在のために、園長が主任業務を補っていたり、他の教員が分担して対応したりする状況が生じていますので、対応をよろしくお願いします。

16番、通級指導教室についてです。私の園でも今年度から新たに通級指導教室ができたのですが、担当者については、専門性の担保や、担当者の育成・指導形態の充実、事務の分担のためにも、各教室2人体制であることを強く求めます。また、専門的な知識を十分身につけ、指導に活かしていくためには時間を要しますので、1年ごとの更新の職員ではなく、正規職員による配置を求めます。また、幼稚園通級の担当者の増員に際しても、誰にでもすぐに担える業務ではないので人材育成の見通しを持った職員の配置を求めます。現状の変更の場合は、事前の説明を行うとともに、幼稚園通級の今後の方向性を示していただきたいです。また、専門性充実のためには、拠点校通級で他校種とともに学び合う機会が必要ですので、拠点校通級については維持していただきたいです。また、施設・設備面について、防音設備や目隠し設備、エアコン設置、通級指導のための教材・教具の充実などもお願いいたします。加えて、昨年度、人員が足りないということについて、「幼稚園教諭が特別な配慮を必要としている子どもの保育を考えている」という信頼を置いてくださっているご意見をいただいているのですが、私たち幼稚園教諭はクラスの中の一員としてどのように成長していくのかを日々保育しているのであり、通級教室は、配慮が必要な子ども一人一人に合わせた発達や親子のフォローをしていくことを担っています。クラスの中の成長とは異なり、その子個人としての生きにくさや伸ばしたいところに対応するために

は、通級指導教室担当者の存在が不可欠と考えていますので、よろしくお願いいたします。

17 番、園長の 360 度評価について、全園において評価者が特定されやすいため廃止すること。以上です。

(組合) 17 番の園長の 360 度評価については、全園において評価者が特定されやすい構造で、匿名性が十分に担保されているとは言えず、制度としての妥当性に疑いがあると思っています。今年、全園を回って調査したところ、正規職員が 2 名の園でも実施されている事例が確認されました。評価者が特定されやすい環境では、率直な意見表明が難しくなり、適正な評価にもつながりません。そのため、全園において、評価者が特定されやすい 360 度評価については廃止を求めます。以上で、市立高等学校教職員組合からの要求を終わります。回答は 9 月 30 日までにお願いいたします。最後に執行委員長から挨拶をさせていただきます。

(組合) 平素は神戸市の教育環境の充実に向けてご尽力いただき、ありがとうございます。おかげさまで、神戸市立高校は県立高校に比べてキャンパスがきれいだということで、中学生からの評判も上々だと聞いています。施設面でアドバンテージをいただけていることに、感謝申し上げます。

さて、本日は、各学校園からの施設・設備に関する要望を提出させていただいています。県立高校の先生方から伺った話ですが、学校見学会の後、中学生が一番問題視していたのは「トイレが臭い」ということだったそうです。トイレが臭いというだけで、教員の授業改善の努力や部活動の実績も大幅に減点されてしまうのです。施設・設備に関する要望は、一見、教育の本質とは無関係な、些細な話に見えることもあるかもしれませんが、実はそれこそが、中学生が高校を選ぶ際の決め手になっていたりします。私たちも、普段の教育活動に加えて、教育環境の整備についても心掛けていきたいと思います。

各分会から説明させていただきました。どうかよろしくお願いいたします。

(市) 皆さま方におかれましては、子どもたちのため、日々情熱を注ぎ、神戸市の教育振興のために大きく貢献していただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

ただいま、勤務労働条件に関する要求書をお受けし、概要をご説明いただくとともに、各先生方からも現場の実情をお聞かせいただきました。ご要求の内容は多岐に渡っており、現場で直面する様々な問題や課題の多さを実感しております。

教員の勤務実態に見合った処遇改善に加えて、教員が選ばれる職になるためには、教員という仕事の魅力向上が欠かせません。特に、学校園における多忙化対策は喫緊の課題であり、教職員がいきいきと働くことができる環境の構築に向けて、働き方改革をより一層推進していく必要があります。昨年度から、学校園主体の取組を支援する「働き方改革トライアル事業」を開始したところでありますが、今年の 3 月には「神戸市立学校園 働き方改革推進プラン\_2.0」を新たに策

定いたしました。引き続き、事務局と学校園で連携しながら、勤務時間外在校時間の削減といった「量」の削減に努めるとともに、「子供も先生も笑顔で過ごす学校」を目指し、働きがい・働きやすさの観点も含めた教育全体の「質」の向上にも取り組んでいきたいと考えています。

また、メンタルヘルス対策においても、令和8年度に新たに常勤産業医1名、心理職1名を配置し、さらなる産業保健体制の拡充を行いましたので、より実践的で効果的な取り組みを進めてまいります。

昨年度においては、給特法の大幅な改正が行われたことにより、様々な給与や手当関係に関する改正を行いました。併せて、夏季作業手当の創設や、期末勤勉手当への職場応援加算制度の創設、今年度においては、通勤手当の有料道路利用については、教員だけではなく、事務職員等へも対象職種の拡大を行いました。

一方で、私ども地方公務員の給与については、非常に厳しい目が向けられており、加えて、各種制度について、国からの指導も強くなってきております。また、本市の財政状況については、長引く物価高騰などにより、市民の暮らしや事業者の経営環境に対する支援をはじめ、光熱費の高騰や公共事業費の増加など、追加の財政需要が生じており、一層厳しくなることが見込まれております。このような中でも、強い財政基盤を確立させることが重要であり、今後の財政運営にあたっては引き続き、危機感を持って臨む必要があります。こうした状況を勘案する必要はございますが、勤務労働条件に関する事項については、皆様方と協議をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

いずれにしても、本日いただきましたご要望につきましては、ただいまお受けしたところであり、現時点で個々の内容についてお答えできる状況ではございませんが、従来どおり誠意を持って検討させていただきたいと思っております。

学校現場が抱える様々な課題を一度に解決することはできないかもしれませんが、皆様方と創意工夫をこらし、お互いによく話をして理解を深めながら、一つずつでも改善していきたいと考えておりますので、引き続きのご理解ご協力をお願いいたします。